

「すべての仲間のために」結成して3年

JR東日本輸送サービス労働組合新幹線地本「第3回定期大会」を開催!

大会宣言を満場一致で可決!

大会宣言(案)

JR東日本輸送サービス労働組合新幹線地方本部は、赤羽事務所会議室において第3回定期大会を開催し、結成から3年、繰り返された会社による不当労働行為に抗したたかみの成果と教訓、新幹線の安全再確立を目指すための運動方針を満場一致で確認した。

東北新幹線で2度におわり列車分離事故の原因究明を巡る団体交渉の情報に対して、会社は一方的な認識で書かれた内容で「社員の皆さんへ」を全職場に貼り出し、輸送サービス労組を名指して批判した。団体交渉で撤回と謝罪を求めたが撤回しないと回答したことから労働組合への正当な運動に対する支配介入の不当労働行為にあたるため4月8日、東京都労働委員会へ救済申立てを提出し、6月22日に第1回調査期日を行った。あったことをなかったことにはさせないために地本は一步も引かず、一切妥協することなく最後までたたかう。

地本は、昨年発生した2度目の新幹線列車分離事故やE8系での車両故障が年時多発した事象など、重大事故・事象による輸送障害が後を絶たないことから「新幹線の異常事態」と規定してきた。今年に入り、山手線・京浜東北線停電事故など安全の根幹にかかわる事故が相次ぎ、国土交通省から2度の警告書が交付されJR東日本の社会的信頼は失墜した。喜勢社長は記者会見でコロナ禍による赤字経営下で進められてきた「他業費800億円削減」とまさに安全軽視、利益優先の経営が暴露され、過去の教訓から何も学んでいないことが明白となった。地本はこの間、2025年度の経営方針で「世界一安全で遅れない新幹線」や「安全」という言葉が明記されていないことを会社に対してあらゆる場で強く指摘し続けてきた。2026年度の経営方針にはその言葉が消え、安全という言葉が明記されていた。これは「安全な新幹線を走らせる」ための安全を第一の課題に据えた団体交渉の開催の積み重ねにおける成果として確認しようではないか。

一方、職場では東京新幹線運輸区の過半数代表者選挙で会社による事実上不正行為が発覚し、会社は事実を認めたが現場社員に一切説明することなく、嘘と誤魔化しの不正選挙を行った。これは会社自らコンプライアンス違反を犯した重大な問題であり、会社による一連の不正は断じて認められない。このような経営体質を正し、安全で安心して働ける職場の構築と健全なJR東日本をつくり上げるためにも、新幹線地本は社友会では出来ない団体交渉権を活用し、職場で発生する諸問題の解決を即時に図っていく。そのために職場から声をあげ続けていこう。

JR東日本はこれまでの労使協議の経過や確認を意図的に歪曲した「重要事項『社員の皆さんへ』」を5月28日と7月1日の両日に全職場に貼り出した。「要結していない」「解消」「失効」などの喧伝は組合員の不安を助長し、組織内に混乱を持ち込む明らかに不当労働行為であり断じて認められない。労働条件に関する協約は有効労働協約であることは何も変わるものではないことから会社による悪意に満ちた言葉に惑わされず、職場で堂々と輸送サービス労働組合運動を推し進めよう。そして、能力給要素の強い人事賃金制度に反対し、輸送サービス労組版「3方向人事運用(スペシャリスト・ジェネラリスト・エキスパート)」を軸とした社員と家族を大切にす賃金制度の見直しを実現しよう。

安全は経営のトッププライオリティとは名ばかりの「安全」を蔑ろにし、社員を大切にしな経営方針を強行し続けるJR東日本に輸送サービス労組は労働組合の責務である「経営のチェック機能」を最大限発揮するため6月19日に開催されたJR東日本第39回定時株主総会で有志の仲間が起ちあがり、健全なJR東日本を取り戻すために提案した5件の議案に対して40〜60万個の議決権の賛同を得てきた。全ての運動課題を結合した私たちの運動は世論を動かす力があること、決して間違っていないということを証明したことであり、これからは職場の問題を職場活動で解決していこう。

輸送サービス労組結成から6年、この一年間で35名の組織拡大があり、また東京新幹線車両センター分会で新たな仲間が加入を決定した。これは私たちの進むべき運動の正しさと労働組合の必要性が証明された証だ。これまで培った運動に自信と確信を持ち、健全な会社を共に創りあげていくためにも声を上げることの出来ない未加入者に「輸送サービス労組に加入しよう」と強く呼びかけよう!そして「職場の過半数労働組合になろう!」を合言葉に、新幹線地本に結集するすべての仲間の手で更なる組織の強化拡大を実現しようではないか。

以上、宣言する。

2026年7月11日
JR東日本輸送サービス労働組合
新幹線地方本部第3回定期大会

不当労働行為を許さない職場の構築と
労働組合にしか出来ない「団体交渉権」を活用し
安全で安心して働ける職場をすべての仲間の力で実現させよう!

「大会宣言」は、新幹線地本に結集する
私たちの揺るぎない決意だ!